

旅と文化

発行所 田区30 千代田一全 都千代田全 京都千代田全 神田千代田全 財団法人 旅行研究 修学旅行研究会 電話(30)0531・2426 編集 永井 発行人 永井

- 本紙の主な内容
- ① 夏期施設の実態
 - ② 夏の行事施設に望む
 - ③ 米のサマースクール
 - ④ 野外活動に対する文部省連連を出す
 - ⑤ 愛知修学旅行研究会 員会大阪府市を視察
 - ⑥ 入選論文

自然観察と身心鍛錬

山と海の夏期施設

マンネリ化した安全対策

夏期休暇に行われる学校の各種施設は、年を追う毎に盛大となり、春秋の修学旅行と並んで、学校の年間行事の一つとして、重要な地位を占めるに至った。このように夏期施設が盛んになった原因は種々あると思われ、修学旅行に味わえない友達間の交流、山や海の自然の中で身心鍛錬などが、その主なものである。しかし、夏期施設が盛んになった反面には、友達間の秩序の乱れや身心鍛錬の点や危険防止の点などで反省すべき事項があると思ふ。

自然や社会観察を計画した。夏期施設は教室を離れて野外において行われるが、遠足や修学旅行と違って水泳や山登り等が重点が、学習の時間がないこともあつたが、そのため、とすれば自然や社会、それでも朝食後とか、夕食前後の

現象の観察が多い。学校の夏期施設時間、その地域の自然や社会の観察に当てることは、大した困難なことではない。引率教師はその地域の自然(地形、地質、植物、気象、海水、海流等)や社会(乗客、産業、交通等)を、事前によく調査しておく必要がある。実際に臨み児童生徒を指導することは、教室での教時間、数分間に匹敵する



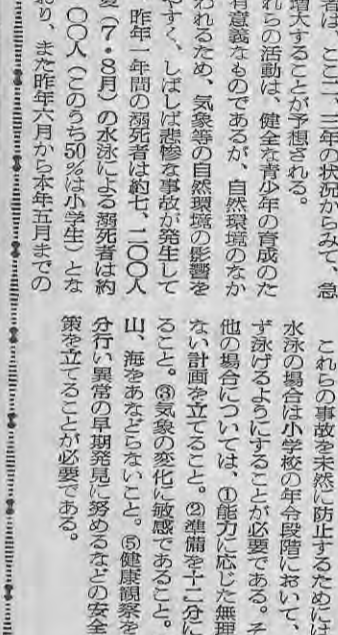
上高地にてキャンプ中の都立城南高生

計画立案は地教委 年中行事になった小、中校

小、中学校の夏期施設は義務教育で、全面的に一律ではない。立場上、地方教育委員会や校長、都道府県の小、中学校では、東京都根の宮の下に、臨海学校を兼営し低学年の虚弱児童のために、皇居内の一部に臨海学校を設けている

海山の事故防止に努めよう

夏期休暇を迎え、水泳・登山・キャンプ・サイクリング・ホステリング等の野外活動の参加者は、二、三年の状況から見て、急激に増大することを予想される。これらの活動は、健全な青少年の育成のため、有意義なものであるが、自然環境のなかで行われるため、気象等の自然環境の影響を受けやすく、しばしば悲惨な事故が発生している。昨年一年間の溺死者は約七、一〇〇人、昨年度(7・8月)の水泳による溺死者は約一、一〇〇人(このうち50%は小学生)となつており、また昨年六月から本年五月までの



都立城南高生の子供達は井海岸における遠泳訓練

夏の行事施設に望む

近年、学校の実施する夏の行事が山間や、テントを張り、望まれる。事施設が増加し、参加する児童、自主自律の共同生活を試みて、また、よい思い出を残し、学校人間性に結びつく。生徒の数が激増していることは、学校の例などは学がべきこと。生活、さらには人生を豊かなものにするための規律ある生活のなかにレクリエーション、現業といふべき。しかるが、多いのである。一般に、職と学を配慮も忘れてはならない。Jシヨンの要素を十分に取り入れ、マンネリ化の傾向が指摘されていることを見逃してはならない。それぞれの学校の教育目標(伝統を活後の消費財を削減傾向が行事施設、勉強から解放され、師弟、同友を海や山でありたい。かして)に沿い、特色のある施設にまで波及するのを戒め、と起尾を共にすることは、そのことには、スケジュールのみがなされてよいのである。買集り、自主自律のたくましく、生活が新鮮で豊かなものである。適合もするが、より多く引率いか。この点、自然に恵まれた神に支えられている行事施設が、ならば、学校生活のよき思い出、教師の人間性に左右されよう。

東京都教育委員会 指導 主事 佐野政雄

鍛錬を主とした高校生 施設は各校独自 全員参加の学校も

高等学校の場合は、小、中学校の児童、生徒、しかも義務教育でない児童生徒に比較して、身心の鍛錬が、各夏の夏期施設に対して、都道府立高校や都立城南高生など数えよう。



(アメリカ大使館提供)

アメリカのサマースクール

ニューヨーク州ブルースターの或る小学校の場合では、学校が一つのキャンプを借り、生徒達は身廻りのものと、自然観察に必要なものだけを持って行く。又、将来先生になる大学生を、8人の子供に1人の割合でつけ、1班は12人として2人の相談者が監督として行く。このサマースクールの目的・指導方針は、子供の能力に応じた指導であつて、主に自然界の観察に重点が置かれている。子供達が、小学校を卒業するまでには、自然というものに対していままでも不思議と想つていて、又学年の進級にも関心をもち、その年の林間学校で集めた標本は学校に持ち帰り、次の年の林間学校があるまで研究する。このようにして自然界のバランスについて大体の概要を教えるように計画されている。

- 【左上】野外におけるスケッチ
- 【左下】虫眼鏡による植物の観察
- 【右上】野外における徒歩の訓練
- 【右下】水中の動物採集

